

今本龍 学位論文審査要旨

主 査 林 一 彦
副主査 松 浦 達 也
同 村 脇 義 和

主論文

Null anticarcinogenic effect of silymarin on diethylnitrosamine-induced hepatocarcinogenesis in rats

(ジエチルニトロサミン誘発肝発癌ラットに対してシリマリンは抗腫瘍効果を示さない)

(著者：今本龍、岡野淳一、澤田慎太郎、藤瀬幸、安部良、村脇義和)

平成26年 Experimental and Therapeutic Medicine 7巻 31頁～38頁

参考論文

1. Chemoprevention against hepatocellular carcinoma

(肝細胞癌に対する化学予防)

(著者：岡野淳一、藤瀬幸、安部良、今本龍、村脇義和)

平成23年 Clinical Journal of Gastroenterology 4巻 185頁～197頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、肝癌抑制効果が報告されているフィトケミカルであるシリマリンの肝発癌抑制効果、および肝癌治療効果を、Diethylnitrosamine (DEN) を用いた実験的肝発癌ラットモデルを使用し、検証したものである。シリマリンの抗腫瘍効果は、肝腫瘍数の肉眼所見、免疫組織化学染色、ウェスタンブロット法によって評価された。重度肝細胞癌モデルを用いた肝発癌効果の検討では、0.1%および0.5%のシリマリン投与によって明らかな肝発癌抑制は認めなかった。軽度肝細胞癌でシリマリンの肝癌治療効果を検討したが、シリマリン投与により明らかな治療効果を認めなかった。

本論文の内容は、従来報告されているようなシリマリンの肝癌抑制効果がないことを明らかにし、肝発癌予防および治療の面で、学術水準を高めたものと認める。